

－2－4－7)。

## 5 高齢者の社会参加活動

### (3) 労働力人口に占める高齢者の比率は上昇

平成27（2015）年の労働力人口は、6,598万人であった。

労働力人口のうち65歳以上の者は744万人（11.3%）となり、労働力人口総数に占める65歳以上の者の比率は、昭和55（1980）年の4.9%から大きく上昇した（図1－2－4－8）。

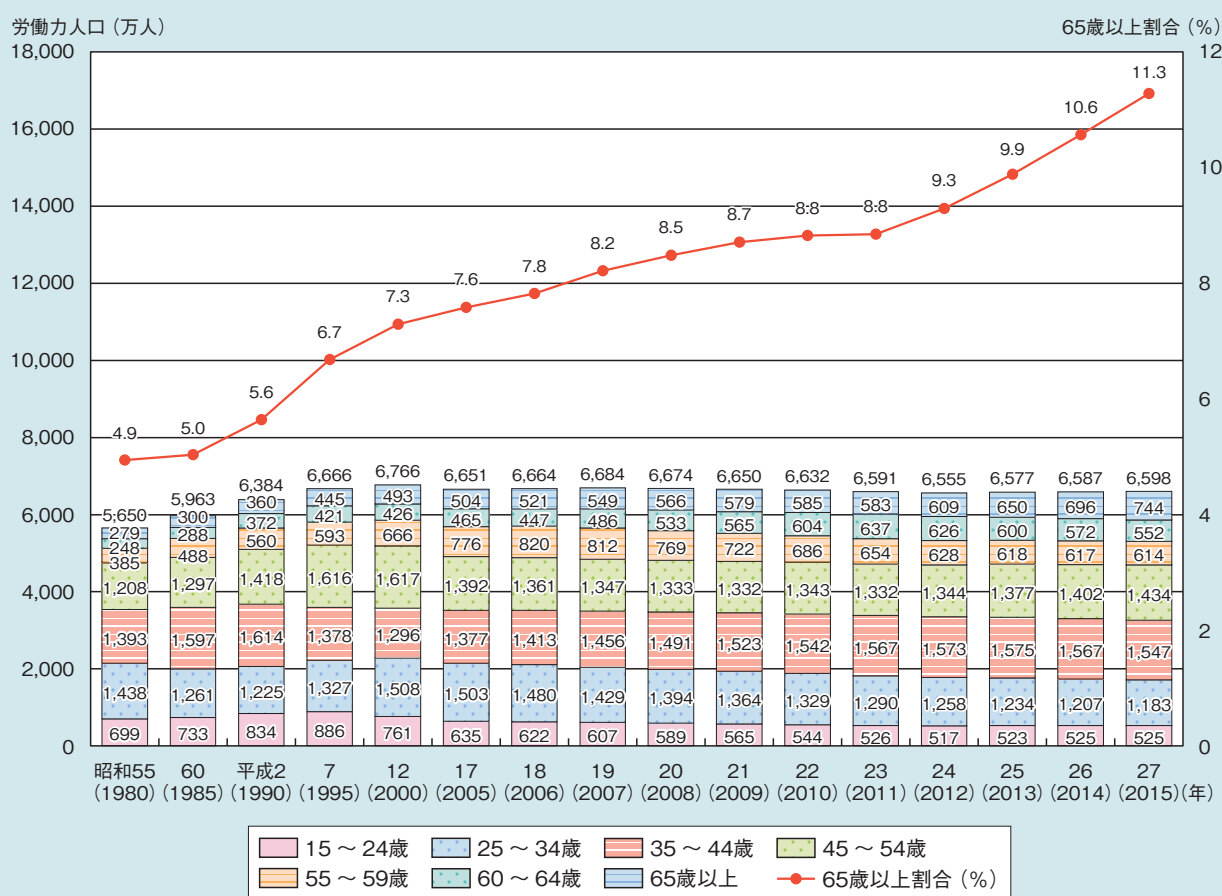
### (1) 高齢者のグループ活動

#### ア 60歳以上の6割がグループ活動に参加したことがある

自主的なグループ活動への参加状況についてみると、60歳以上の高齢者のうち61.0%（平成25（2013）年）が何らかのグループ活動に参加したことがあり、10年前（15（2003）年）と比べると6.2ポイント、20年前（5（1993）年）に比べると18.7ポイント増加している。

具体的な活動についてみると、「健康・スポーツ」（33.7%）、「趣味」（21.4%）、「地域行事」（19.0%）の順となっており、特に「健康・

図1－2－4－8 労働力人口の推移



資料：総務省「労働力調査」（年齢階級別労働力人口及び労働力人口比率）より内閣府作成

（注1）「労働力人口」とは、15歳以上人口のうち、就業者と完全失業者を合わせたものをいう。

（注2）平成23年は岩手県、宮城県及び福島県において調査実施が一時困難となったため、補完的に推計した値を用いている。

スポーツ」は10年前に比べ8.4ポイント、20年前に比べ14.8ポイント増加している（図1-2-5-1）。

## イ グループ活動に参加してよかったことは「新しい友人を得ることができた」、「生活に充実感ができた」

自主的なグループ活動に参加したことがある高齢者が活動全体を通じて参加してよかったことは、「新しい友人を得ることができた」（48.8%）が最も多く、次いで「生活に充実感ができた」（46.0%）、「健康や体力に自信がついた」（44.4%）の順となっている（図1-2-5-2）。

## ウ 参加したい団体は「趣味」のサークル・団体、参加している団体は「町内会・自治会」

高齢者が参加したい団体は「趣味のサークル・団体」（31.5%）が最も多く、次いで「健康・スポーツのサークル・団体」（29.7%）となっている。

一方で、参加している団体を見ると、「町内会・自治会」（26.7%）が最も多く、約4人に1人が参加している。

「町内会・自治会」については、「参加している」（26.7%）が「参加したい」（20.6%）を6.1ポイント上回っている（図1-2-5-3）。

## (2) 高齢者の学習活動

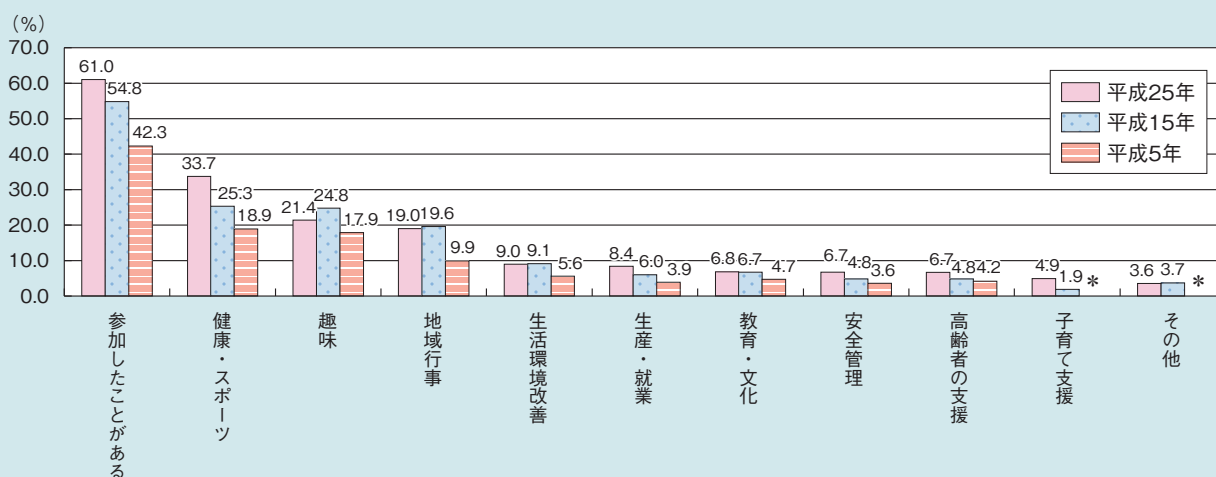
### ア 生涯学習を行っている高齢者は4割以上、内容は「趣味的なもの」、「健康・スポーツ」

高齢者の生涯学習への参加状況についてみると、この1年くらいの間に生涯学習をしたことのある人は、60代でも70歳以上でも4割以上となっている。内容は、「趣味的なもの」が最も多く、60代で24.6%、70歳以上で24.9%となっている（図1-2-5-4）。

### イ 生涯学習を行っていない理由は、60代では「仕事」

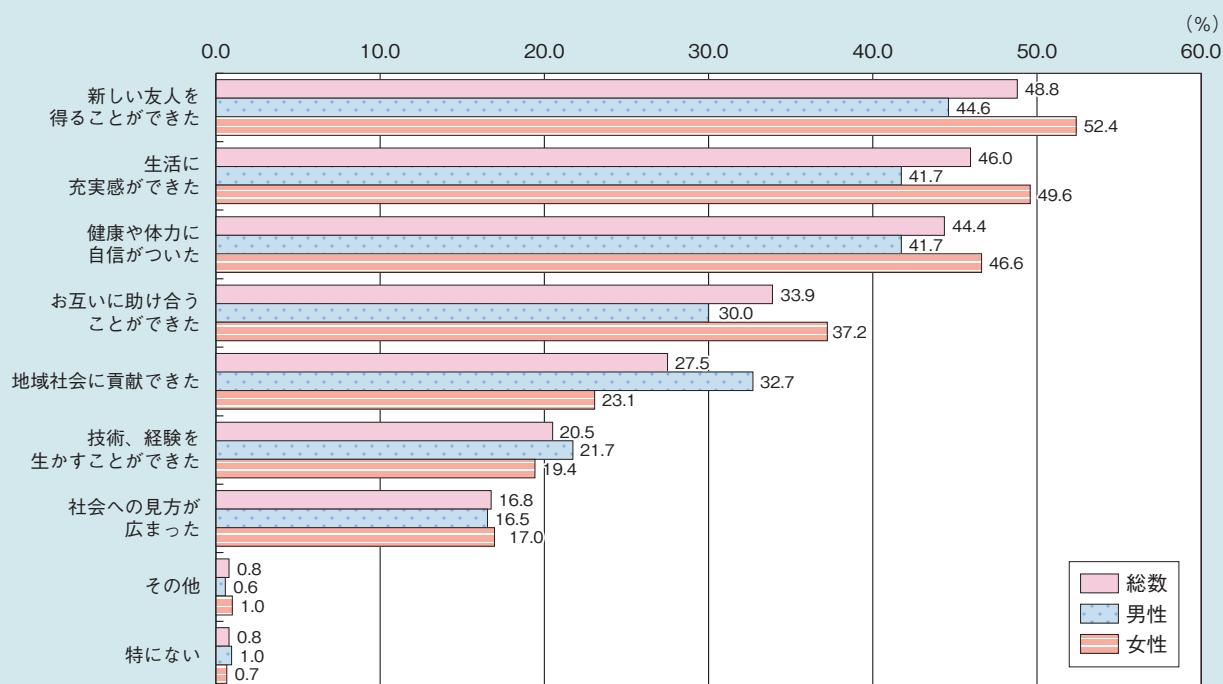
生涯学習を行っていない理由をみると、60代では「仕事が忙しくて時間がない」（40.8%）が最も多く、次いで「きっかけがつかめない」

図1-2-5-1 高齢者のグループ活動への参加状況（複数回答）



資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（平成25年）  
 （注1）調査対象は、全国の60歳以上の男女  
 （注2）\*は、調査時に選択肢がないなどで、データが存在しないもの。

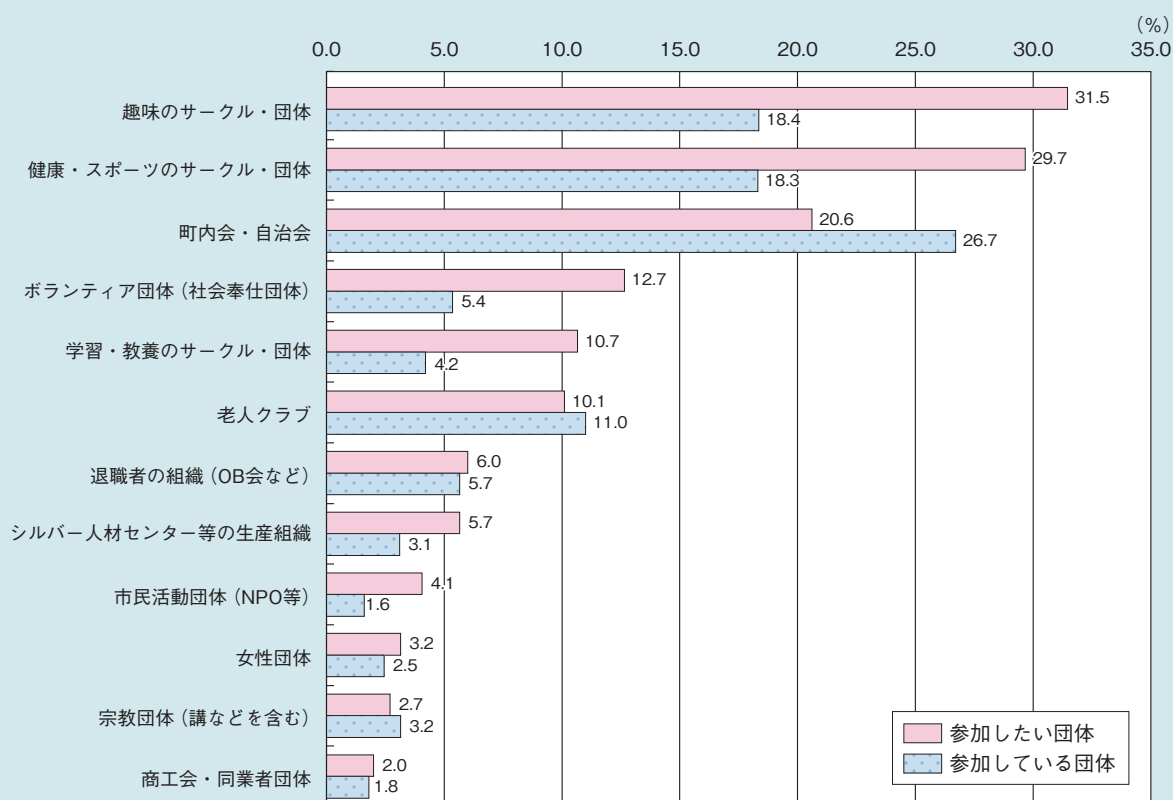
図1-2-5-2 高齢者のグループ活動参加による効果（複数回答）



資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（平成25年）

（注）調査対象は、全国の60歳以上の男女

図1-2-5-3 参加したい団体と参加している団体（複数回答）



資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（平成25年）

（注1）調査対象は、全国の60歳以上の男女

（注2）「その他」や「参加したくない」などの回答を除く

(20.9%) となっている。70歳以上では「特に必要がない」(19.8%) が最も多い(図1-2-5-5)。

### (3) 高齢者の世代間交流

#### ア 約6割の高齢者が若い世代との交流に参加したいと考えている

高齢者の若い世代との交流の機会への参加意向についてみると、参加したいと考える人の割合(「積極的に参加したい」、「できるかぎり参加したい」と回答した人の合計)は平成25(2013)年で59.9%となっており、10年前(2003)年に比べると7.2ポイント増加している(図1-2-5-6)。

#### イ 世代間交流を促進するための必要条件は「交流機会の設定」

高齢者が世代間の交流を促進するために必要

だということを見ると、「交流機会の設定」(31.7%) が最も多く、次いで「高齢者が参加しやすくなるための交通機関の整備など」(28.9%) となっている(図1-2-5-7)。

## 6 高齢者の生活環境

### (1) 高齢者の住まい

#### ア 高齢者の8割は現在の住居に満足しており、体が弱っても自宅に留まりたい人が多い

60歳以上の高齢者に現在の住宅の満足度について聞いてみると、「満足」又は「ある程度満足」している人は総数で76.3%、持家で79.1%、賃貸住宅で56.6%となっている(図1-2-6-1)。

さらに、現在の住宅の不満な点を聞いてみると、「住宅が古くなったりいたんだりしている」が63.8%と最も多く、「住宅の構造や設備が使

図1-2-5-4 高齢者が行っている生涯学習(複数回答)

